

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○素直で意欲的に取り組める児童が多い。 ○GIGA端末の基本的な操作に慣れてきている児童が大部分である。 ○与えられた課題はまじめに取り組む児童が多い。 ○基礎・基本的な知識・技能が充分ではない児童がいる。 ●漢字の読み書きや語彙が十分でない子がいる。	①基礎・基本的な知識・技能をより確実に身につけることができる。 ②漢字や語彙の定着を図り、日常の中で使うことができる。 ③GIGA端末の基本的操作を身につけ,学習に活用することができる。	①既習計算と漢字と漢字の復習小テストを繰り返し行う。 ②各教室に読書スペースを設け、読書に興味・関心をもたせる。低学年は、読書を通して、文字・言葉に親しみ、中・高学年は各学級に常備した国語辞典を活用し語彙を広げる。 ③一人一台端末を各教科で効果的に活用する。 ④GIGA端末等で個に応じたワークシートや課題を与え支援をする。 ⑤学習活動の中で音読の時間を設ける。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを表現できる児童が増えてきている。 ●問題解決の過程で、知識や技能を生かして、数学的な見方考え方を働かせることが苦手である。 ●読むことができるが、条件に従って文章を書ける子が少ない。 ●チャイムの合図が守れていない児童がいる。 ●集中できる時間が短い児童が増えてきている。	①目的に応じて、必要な情報を集め、自分の考えをまとめたり、表現上の工夫をしったりすることができる。 ②文章の要旨を伝えたり、問いの意図を正しく理解したりすることができる。	①個別やグループでのMetaMojiを活用した学習を積極的に取り入れ大型プロジェクターで発表する機会を増やす。 ②ホワイトボードを活用し、グループで考えをまとめ発表する。 ③ノートに考えを書く時間を確保する。 ④個人の端末からクラウドで使える算数・英語のデジタル教科書を効果的に活用する。 ⑤課題にあった情報を選ぶ活動を取り入れる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教え合い、助け合うことができる児童が多い。 ○家庭学習の習慣がついている児童が多い。 ●学習規律が身につけていない児童がいる。 ●難しい問題に最後まで取り組むことや、疑問に思ったことを自ら調べようとする児童が増えてきているがまだ十分ではない。 ●一斉指導の中で聞いて課題に取り組める児童が減ってきている。 ●チャイムの合図が守れていない児童がいる。	①自分の思いや考えを進んで発表することができる。 ②自らの課題に根気強く取り組むことができる。 ③目的を持って、自分の力で学習を進めることができる。 ④目的に合った本を選び、本に親しんだり情報を集めたりできる。 ⑤学習規律の統一を図る。特にチャイムの合図ですぐ学習できる。	①話の聞き方や発表の仕方を教室に掲示する。 ②授業の仕方や活動内容の工夫、MEXCBTの活用などで学習の意欲を高める。 ③振り返りの場の設け方を工夫する。 ④ポジティブな行動支援の達成率を発表するなど学校全体でチャイム着席に取り組む。 ⑤学校図書館の環境整備を行い読書の生活化を進める。 ⑥教科の単元により、作成されているパスファインダーを使い、調べ活動を充実させる。 ⑦ノーメディアデイを設けて、生活習慣を整える。			

